

令和4年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

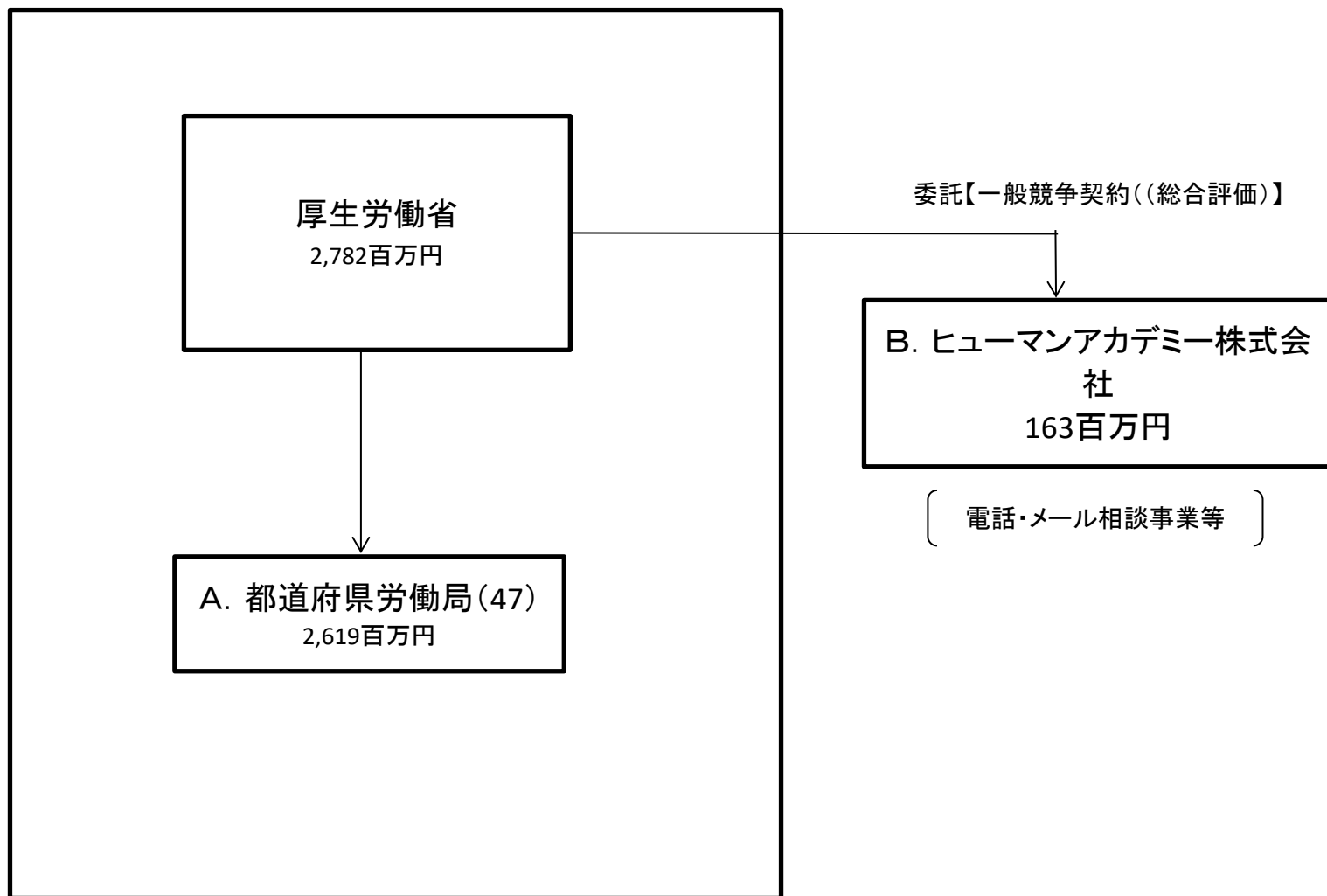
事業名	フリーター支援事業			担当部局庁	人材開発統括官			作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	若年者・キャリア形成支援担当参事官室			若年者・キャリア形成支援 担当参事官 河嶋 正敏		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第6号 雇用保険法施行規則第115条第1項第13号			関係する 計画、通知等	ニッポン一億総活躍プラン(平成28年6月2日) 未来投資戦略2017(平成29年6月9日) 働き方改革実行計画(平成29年3月28日)					
主要政策・施策	高齢社会対策、子ども・若者育成支援、少子化社会対策、男女共同参画			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	不安定な就労を繰り返すフリーターのうち正規雇用での就職を希望する者に対し、個別的な就職支援等を通じて正規雇用化を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国22か所のみかものハローワーク等を拠点に就職支援ナビゲーター等を配置し、フリーターに対して正規雇用化に向けた就職プランを作成し、担当者制による個別支援、正規雇用に向けたセミナーやグループワーク等の各種支援や就職後の職場定着支援を実施するとともに、アルバイト等をしながら仕事探しを行うフリーター、ハローワークへの来所にはまだためらいがある若者などの就職等に関する悩みや相談について、キャリアコンサルタント等による相談を実施。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	3,209	2,968	2,956	2,513				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	▲ 5	-	-				
	計		3,209	2,963	2,956	2,513	0			
	執行額		3,018	2,562	2,782					
執行率 (%)		94%	86%	94%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		94%	86%	94%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	1,624								
	土地建物借料	485								
	労働保険業務庁費	222								
	庁費	179								
	その他	3								
計	2,513	0								
活動内容 (アクティビティ)	不安定な就労を繰り返すフリーターのうち正規雇用での就職を希望する者に対し、個別的な就職支援等を通じて正規雇用化を図る。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	正規雇用での就職	ハローワークにおける 支援対象新規求職者数 ※令和元年度までの活動 指標	活動実績	人	874,489	-	-	-	-	
			当初見込み	人	949,000	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	フリーターの正社員化1人当たりコスト = X / Y			単位当たり コスト	円	14,767	-	-	-	
	X:「執行額」 Y:「正社員化数実績」			計算式	/	3,018百万 円 /204,377	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 4 年度	
	ハローワークにおけるフリーターの正社員化数を10万2,254人以上とする。	ハローワークにおけるフリーターの正社員化数	成果実績	人	204,377	98,114	108,235	-	-	
			目標値	人	255,000	126,758	108,000	-	102,254	
			達成度	%	80.1	77.4	100.2	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	厚生労働省人材開発統括官調べ									

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	正規雇用での就職	わかものハローワーク等の新規登録者数 ※令和2年度からの活動指標							
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	単位当たりコスト=X/Y X:「執行額」 Y:「わかものハローワーク等の新規登録者数」			単位当たりコスト	円	-	14,304	15,403	-
			計算式	/	-	2,562百万円 /179,114	2,782百万円 /180,608	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省人材開発統括官調べ								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								-	4
								年度	年度
	わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合64%以上 ※令和2年度からの成果目標	わかものハローワーク等におけるフリーターの正社員化率	成果実績	%	-	61.6	63.5	-	-
			目標値	%	-	66	64	-	64
			達成度	%	-	93.3	99.2	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省人材開発統括官調べ、(参考)数値については正社員就職者数46,992人/就職者総数74,057人(令和3年度)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								-	3
								年度	年度
	相談等支援件数を1万5千件以上とする	電話、メール、SNS等による支援件数 ※令和3年度までの活動指標	成果実績	件	12,574	16,794	18,948	-	-
			目標値	件	20,000	15,000	15,000	-	-
			達成度	%	62.9	112	126	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省人材開発統括官調べ								
政策 再生計画、新経済・財政	政策	労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること(V-3)							
	政策評価	政策評価書 URL	<a href="https://www.mhlw.go.jp/wp/seisaku/hyouka/dl/r03_jizenbunseki/V-3-1.pdf">https://www.mhlw.go.jp/wp/seisaku/hyouka/dl/r03_jizenbunseki/V-3-1.pdf</a>						
再生計画との関係	施策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること(V-3-1)	該当箇所	令和3年度実施施策に係る政策評価の事前分析表 達成目標3 測定指標11及び12					
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	将来の社会・経済を担うべき若年者をフリーターから離脱させ、正規雇用化させることは社会的な要請である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	民間等による支援では不十分な部分(支援者層、支援時期等)をセーフティ・ネットとして国が実施するものであり、国費を投入して支援する必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	ターゲットを絞り明確な数値目標を設けて実施している。今後我が国の社会・経済を担う若年者を正規雇用化させることは極めて重要であり、優先度は高い。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	民間企業によって代わることが可能な事業(電話メール相談事業等)については、一般競争入札において選定している。また、一者応札となった入札はなかった。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	我が国の社会・経済を担うべき若年者に対して、無料の職業紹介をはじめとする支援を行っている。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	令和2年度14,304円、令和3年度15,403円となり、過剰な水準とはなっていない。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	職業相談から職場定着指導まで、若年者を正規雇用化させるために必要な一貫した支援を行っている。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	一般競争入札を実施している。					

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により目標未達成となったものの一定の成果はあげている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	本事業においては、一定の成果をあげており、現状において他に代替する手段・方法は考えられない。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	活動指標は見込みを上回っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	わかものハローワーク等に対する認識は着実に高まっており、わかものハローワークは、約25万人の利用がある。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				○	「非正規雇用の労働者のキャリアアップ事業の実施(所管:雇用環境・均等局)」は同一事業所内で在職者の正規化等を指すものであるのに対し、本事業は職業紹介等により非正規の求職者を就職支援するものである。
	事業番号		事業名			
	2022	厚労	21		非正規雇用の労働者のキャリアアップ事業の実施	
点検・改善結果	点検結果	わかものハローワーク等は平成24年度に設置して以降、就職支援ナビゲーターによる個別支援などのきめ細やかな取組により、特に支援対象者の正規雇用化に一定の成果をあげてきたところであり、効果的な就職支援サービスが提供できている。また、ニーズや実績等を踏まえて体制を縮小(わかものハローワークの廃止等)し、予算を縮減するなどの見直しも図っている。 令和3年度においては、①活動指標であるわかものハローワーク等の新規登録者数については、当初見込みを上回っており、一定のニーズが認められる。②成果目標であるわかものハローワーク等におけるフリーターの正社員化率については、令和2年度より改善してはいるものの、新型コロナウイルス感染症等の影響や比較的就職までに時間を要するような特に難しい課題を抱える対象者がいたことなどにより、これを下回っている。				
	改善の方向性	引き続き、支援対象者毎の就職プランの策定や職業相談・職業紹介などの個別支援、グループワークやセミナーの実施等により、若年フリーターの正社員化等を推進しつつ、支援対象者の減少やニーズの変化等を踏まえて、事業内容等について精査する。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年度	799					
平成24年度	705					
平成25年度	547					
平成26年度	544					
平成27年度	552					
平成28年度	554					
平成29年度	554					
平成30年度	570					
令和元年度	厚生労働省	-	0584			
令和2年度	厚生労働省		0592			
令和3年度	2021	厚労	20	0650		

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.東京労働局			B.ヒューマンアカデミー株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職業相談員等の経費	240	管理費	人件費等	106
事業費	わかものハローワーク等の借料、事業に必要な経費	199	事業費	設備費、広報費、交通費等	42
			消費税		15
計		439	計		163

